

全員協議会開催（県庁不正経理の報告） 12月18日

12月18日 午後1時から **不正経理の報告のための、全員協議会が開催**されました。

全員協議会は、不正経理について公表された直後の9月18日にも開催されています。その時は、各会派代表による質疑答弁が行われましたが、今日は、森田知事、小宮総務部長、鬼澤教育長からの**報告だけで、質疑は行われませんでした。**



傍聴者には、**会議次第と議席表**だけが渡され、膨大な報告書の読み上げも、分からないことばかり。「県民に申し訳ない」と口では言いますが、そういうものが伝わってきません。

全員協議会 会議次第	
平成21年12月18日(金) 午後1時から 本会議場	
1	開会
2	経理問題特別調査に...
3	閉会

議員にも 協議会直前にならなければ 報告書が配布されませんでした。傍聴者にも 配布してほしかったですね。

【伝票開示時において 耳にした言葉】

・今回の不正となったこのようなやり方を、個人として考えたのか、それとも前任者からの引き継ぎとしてあったのか？

・前の人からの引き継ぎでやってきた（はっきりとは言われませんでした、文書かメモがあったようです）
・21年4月に着任した時、前任者から「預け」は早めにつかっていたと言われた。

・おかしいと思わなかったか？

・慣習としてやってきた。
・不正の問題が上がってこなければ、同様のやり方で続けていたかもしれない。
・組織にいると、「おかしい」と思っても言えない。
・当然のようにやってきていることなので「悪い」という思いが薄らいでいた。
・自分のために着服しているのではないという思いもあった。

40年前からこの意識が継続され、**不正経理日本一**の千葉県が出来上がってきたんですね。



平成18年の1件を最後になくなっているのは、何故か？個人としてやめようと思ったのか、それともその組織内での統一意識なのか？

前の人からの引き継ぎでやってきたが、正しくしないと意識した。組織として意識の改革をした

「預け」と

・細かい商品はまとめて1品で表示したり、違う商品を預けり金の中で購入。
・平成15年前から 預けでしていた。